

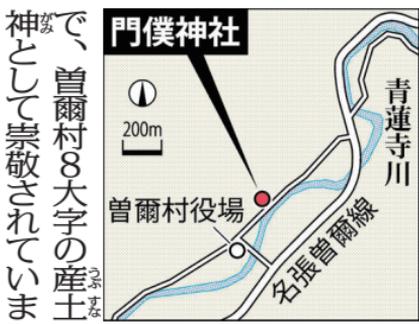
門僕神社の拝殿（手前）と本殿―曾爾村今井で

雄略天皇の御代に創建



雄略天皇の御代に創建と伝わる門僕神社は、曾爾村の中央部、青蓮寺川（曾爾川）の西岸に鎮座しており、延喜式神名帳に大和国宇陀郡17座のうちに記載された由緒ある神社です。

祭神は、天津児屋根命、武甕槌命、経津主命、比賣大神と他3柱



門僕神社（曾爾村）

（住所）曾爾村今井733
 （祭神）天津児屋根命、武甕槌命、経津主命、比賣大神、玉祖命、天手力男命、天宇受賣命

（交通）近鉄榛原駅から奥宇陀わくわくバス「曾爾役場前」下車すぐ。無料駐車場あり
 （拝観）境内自由
 （電話）0745・96・2711

社殿は21年ごとに造替されてきましたが1679（延宝7）年の暴風雨で倒壊し、棟札・諸記録が流出したため、高所に再建されました。現在の社殿は2010年の造替で、屋根を桧皮葺から銅葺としました。

秋の例祭（体育の日の前日に斎行）では、「すこ」（柿と餅を串に挿し頭に鶏頭花を挿して着飾った乙女の形）という神饌が犬の舌・牛の舌の形に模した餅とともに供えられます。また、境内では、1718（享保3）年から300年以上継承されている「曾爾の獅子舞」が、長野・今井・伊賀見の3地区の人たちにより奉納されます。参神楽、獅子踊り、接ぎ獅子など一連の獅子舞は、種類の豊富さと質の高さが評価され1979年に県無形民俗文化財に指定されました。また境内には葉のふちに種子をつける「お葉付イチヨウ」（県指定天然記念物）があります。

（奈良まほろばソムリエの会員 本井良明）